

跡見玉枝《桜花図巻》保存修理事業にかかる業務仕様書

1. 事業の趣旨・目的

東京国立近代美術館では、所蔵作品を適切に保存管理するとともに、館内の所蔵作品展示や他館での展覧会などに貸し出し鑑賞の機会を提供しているが、経年変化や展示により損傷が進んでいるものがあることから、保存修理を行う。

2. 概要

(1) 業務内容

跡見玉枝《桜花図巻》(1934年)の保存修理

品質	絹本彩色
形状、員数	卷子装、一卷
寸法	本紙 各 35.6×50.8cm (全 25 紙) 表具 41.5×1396.6cm (全長)
表紙	白地流水梅紋色糸入り金欄
見返し	霞雲紋金砂子蒔紙
表装	萌黄地緞子 本紙周りおよび天地に金箔による覆輪あり
総裏紙	楮紙 雲母引き
巻紐	紫色安田紐
軸首	水晶軸
奥付	なし
収納	印籠箱

本卷子は表具が固く、本紙、特に巻末部では本紙や本紙の継ぎ手に強い折れが生じている。これにより、将来本紙の切れや、絵具の剥落など深刻な損傷をもたらすことが懸念される。また、経年により絵具自体の膠着力も低下していると思われる。

以上のとおり、本卷子は全体として損傷が著しく、今後さらに損傷が進行する危険性が高いことから、早急に解体修理を行う。

(2) 実施期間

契約日から平成23年3月31日まで

(3) 業務の詳細内容

跡見玉枝《桜花図巻》を下記の修理方針に従って保存修理する。

修理方針

現在の卷子装を解体し、折れが生じている裏打ち紙を除去したのち、より柔軟に仕立て直す。剥落止めにより絵具の定着を図る。修理後の折れを予防し安全に取り扱えるよう、太卷芯を新調し、これにともない印籠箱も新調する。

修理内容

①本体修理

- ア 写真撮影を行い、作品の状態を調査する。
- イ 卷子装を解体する。
- ウ 必要な箇所に剥落止めを行う。
- エ 適切に汚れを除去する。
- オ 旧裏打ち紙を安全に除去する。
- エ 新規裏打ちを施す。
- オ 折れ伏せを施す。
- カ 表紙、見返し、卷紐、装飾裂、軸首を再使用し、覆輪を新調して卷子装に仕立てる。

②収納

- ア 包裂、太卷き芯、印籠箱、帙を新調する。

③記録及び報告書

- ア カラー写真により、修理前後および修理中の状況を撮影記録する。
- イ 修理内容、修理前後の比較、用いた修理材料等を報告書にまとめる（1部）。報告書には理解しやすい図、表、写真等も盛り込むこと。

3. 本事業の範囲

- (1) 事業実施計画の企画・立案
- (2) 事業実施業務（状態に応じた調査の実施を含む）
- (3) 事業の詳細な報告書等の作成
- (4) その他事業実施に必要な業務

4. 作品および報告書の納入期限・場所

- (1) 納入期限：平成23年3月31日
- (2) 納入場所：〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園3-1
東京国立近代美術館 美術課 絵画彫刻室

5. その他

- (1) 検収は東京国立近代美術館が行う。
- (2) 提出した報告書および本修理作業について即時説明できる体制を整えること。

- (3) 当事業は原則として再委託することはできない。ただし当館が許可したものについてはその限りではない。
- (4) 当事業は企画書（様式5）にて定めた工房で実施すること。
- (5) 仕様書に定めのない事項がある場合、または疑義が生じた場合には、担当職員の指示に従うこと。

以上